

「会員短信 90」

「後期高齢」

井野ひろみ

一昨年、後期高齢者になりました。周りから年齢を聞かれた時に「後期高齢」と答えると、「えー？」と驚く人と、「うん、うん」と納得する人がいて、何歳に見られているのか気になるところです。

二十数年前、定員十人の小規模なデイサービス施設の事務スタッフに採用され、電話番号や簡単な事務をする事になりました。時折、デイサービスのスタッフに欠員がでると、来所された方の話し相手や散歩のお供もするようになりました。幸い通所されていた方は食事やトイレは自立されていて、新人の私でも見様見真似で何とか対応できました。

施設内の仕事に慣れるにつれて、事務職から介護スタッフの要員になり、その後ヘルパーの資格も取って、介護業務の奥深さを勉強させて頂きました。施設には六年間、勤務しました。

現在、自分自身が高齢者のレッテルを貼られましたが、良い歳を取る手立てを考えています。

スタッフとして勤務していた時に接した方で、とてもステキな方が居られました。いつも笑顔、人の話しを聞く、余分な事は言わない方でした。私もあの方のような良い歳の取り方をしたい、良き後期高齢者になりたいと思います。

しかし、後期高齢者と言っても入口に立ったばかりですから、これから心身ともにまだまだ頑張っていきたいと思います。

推敲や堂々巡り蜷の道

この漢字ルビにびっくり風信子(ヒヤシンス)